

指導力向上を目指した職員研修

＜全教師の参画による校内研修＞

基本スキルの向上と
課題意識

◎ 授業評価表を用いた相互評価

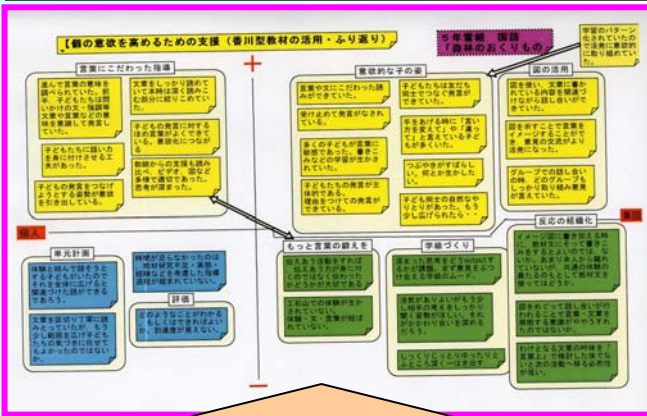
◎ ワークショップ型校内研修の方法

- ア 評価の視点にそって各自が付箋に記入
それを各グループで整理し、構造化する。
- イ 各グループで整理したものを分析・検討・発表
- ウ 改善案、問題点などを全体で協議し、成果と課題をはっきりさせて討議のまとめをする。

研修授業評価表		6月16日			
（4月 安藤）先生の授業より 教科（国語）		次の観点で評価をお願いします。			
○一めしたことが、記載してください。					
観点	評価する	1	2	3	4
1 この題材を学習する必要性や価値は、十分に説明されていた。					④
2 学びの場が、子どもにとって魅力的で、興味をそそいでいた。		1	2	③	4
3 授業の進め方が、子どもにとってわかりやすく、理解が深まっていた。		1	2	③	4
4 授業のまとめが、子どもにとってわかりやすく、理解が深まっていた。		1	②	3	4

観点を明確にした
授業評価表

【目的に合わせて多様なワークショップ形式を選択】



【外部講師招聘による研修の活性化】

鳴門教育大学大学院 村川雅弘教授をお招きして

- ＜視点＞
- 一人一人が研究開発に主体的に参画するために
- 教職員の資質能力を高める校内研修のあり方



成果と課題

(1) 成果

- ① 伝え合う力を支える言葉の力を継続的なスキル学習や読書指導で鍛えるとともに、全教科の学習（国語科の学習を中心）において一人学びの場や交流活動の場を意図的に取り入れ、全校で意図的な授業改善に取り組めた。
- ② 家庭との連携によって自主的な学習態度づくりに努め、家庭学習の良習慣が定着しつつある。
- ③ 参加型の校内研修方式を授業の事前研修・事後の討議会に取り入れ、研修の活性化を図った。全教師の意見を交換することができ、成果と課題も明らかになった。

(2) 課題

- ① 子どもにとって、何が学びの質を高めたかを見極め、学びの喜びや実感をともなった学習を追求したい。また、交流のねらいと機能（効果）を明らかにした授業改善に取り組んでいく。
- ② 短期的・長期的なレベルで、思考力、表現力の育ちを評価し、見極める方策を検討していく。
- ② 学習を支える力（がんばる力、つづける力、ふりかえる力）に着目し、基礎的な学習や学習習慣づくりに取り組む。そして、日々の学習が真に児童の力となるものへと充実させていきたい。